

1点の重み

私立大学入試では名目倍率が10倍を超える場合でも、合格者全員が入学するわけではありませんので、実際の入学者数に対する合格者数からみた実質競争倍率は3倍程度というのがふつうです。しかし、名目倍率であっても受験者数が多ければ、合格最低点の前後5点以内に受験者数全体の50%がひしめいていることも珍しくありません。東京大学の理科一類では合格最低点から3点以内に100名以上の合格者が集中しています。1点の差はとても大きな差であることが分かります。「1点の重み」は仮想ではなく現実そのものなのです。11月は毎日のように過去問演習があり、毎週のように模擬試験がありますが、その精度の高い復習があつてはじめて1点の重みもつ勝負を勝ち抜くことができます。「合格」できるかどうか不安があつても時間の無駄です。他者から与えられる「合格」にやきもきするよりも、いま自分ができる「努力」をしましょう。

苦手分野をノートに書き出してみる

センター科目の得点率が60~70%しかなければ弱点分野の攻略が急務です。まちがっても、好きな科目を伸ばす、という方法をとらないでください。センター試験は、苦手なところをより少なくした人が成功するタイプのテストです。まず、苦手な分野を配点の大きい順にノートに書き出して、一週間ごとに、優先順位の高い順に、苦手な分野を克服する計画を立てます。11月は受験勉強の仕上げの時期です。講義でやる過去問演習や模試をうまく活用して、弱点分野を一つでも多く得点源に変えていきましょう。

「偏差値から得点へ」11月は目標点を見ずして前進

●センターはまず80%得点が目標！

金沢大学であればセンター75~80%得点を目標に、得意科目は90%、よほどの苦手科目でも70%を目標にします。5教科の得点率を得意なものから順に「9・8・8・7・7割」や「8・8・7・7・6割」など、皆さん自身の目標点と戦略をもって勉強に励みましょう。

●私大センター利用入試の合格最低点

センター利用の合格者最低点の得点率は、3教科型よりも7科目型(国立型)の方が5%前後低くなります。国立大学でも金沢大学後期の人文学類のようにセンター3科目(英・国に加えて数社理から1)の入試もあります。勝負科目が強ければ私立型の人

でも合格するチャンスがあります。

●私大一般入試の合格最低点は7割前後？！

私立大入試は偏差値だけでなく出題される問題との相性の良し悪しも重要です。9月末に作成したシミュレーションを参考に、受験予定大学の過去問にあたって出題傾向を研究しておきましょう。

11/12(土) 秋の大学入試説明会

日時	11月12日(土) 9:30~12:30
会場	育英予備校金沢 3Fホール
対象	高校生・高卒生・保護者
全体説明会・個別相談会を実施する大学	
明治大・青山学院大・立教大・中央大・法政大・国際基督教大・芝浦工大・同志社大・立命館大・関西大・京都産業大	
※大学別説明会や個別相談会の時間はチラシで確認を	
願書は無料で進呈	
WEB出願に全面移行の大学は入試要項や入試ガイド等を配布いたします。	

11/12(土)立命館大学 物理・化学対策講座

日時	11月12日(土) 14:00~18:00
会場	育英予備校金沢 3Fホール
対象	高校生・高卒生(予約不要・入退場自由)

2017年度一般入試について、入試方式ごとの特徴や出願の注意点を解説。さらに、本学予備校講師が入試過去問をもとにわかりやすく解説！

11月重要スケジュール

11月 3日(木)・4日(金)	ベ・駿共催マーク模試
11月 5日(土)・6日(日)	東大オープン
11月 6日(日)	阪大オープン
11月12日(土)	大学入試相談会(9:30~)
11月12日(土)	立命館大物理・化学対策講座
11月12日(土)	医進模試
11月13日(日)	金大模試(予備校実施)
11月19日(土)・20日(日)	早慶オープン
11月26日(土)・27日(日)	全統センタープレ

学割差額補助支給申請書は

11月25日(金)までに1階事務へ提出して下さい。